

市指定

所在地：多紀連山（三岳）

## みたけじあと 大岳寺跡

山岳仏教の全国的な盛期（平安時代末期～室町時代）多紀連山中に修験道の聖地として大岳寺があり、吉野大峰山に対して新金峯山大岳寺と称し、全山の中核的寺院として崇敬されていたと伝える。

同寺跡は三岳山頂の南側7合目付近にあり、伝承では塔頭11カ寺を擁したとあるが、現在でも数カ所の僧坊跡と思われる平坦地や、そこから中世の陶磁器の出土が見られ、伝承の信憑性を高めるものとなっている。

